

第7回 夏の教育セミナー報告 日本教育新聞社・(株)ナガセ主催

「共通テスト」いよいよ本番へ

文科省高等教育局 大学振興課大学入試室長 前田 幸宣氏

講演



4技能活用・記述式 来夏までに結論

文科省からは前田幸宣・大学入試室長が講演し、新型コロナウイルスの影響を踏まえた令和3年度入学者選抜の変更点を解説。新学習指導要領に対応した大学入試に向けてのスケジュールも説明した。入試改革が明確になり、高校現場に不安感が広がる中、講演後には参加者から事前に寄せられた疑問に丁寧に回答した。

配慮事項は、文科省が入学者選抜実施要項で定める。6月19日付で通知した実施要項では、来夏の共通テストは予定通り1月16、17日に実施するが、追試を例年より1週間遅い1月30、31日に実施することにした。また、高校の臨時休業で学習に遅れのある受験生は、出願時に追試を選択できることになった。

一般選抜 総合力重視、面接や論述も

来年から始まる大学入学共通テストを機に、各大学では一般選抜でも数学を新たに必修にすることを大きく見直し動きが出ている。「入試のやり方を変えることで、大学の中身を変えていく。入学者のトータルな意気を変えていくことに挑戦する」

初のオンライン授業、受講しやすくなる

大学入学共通テストの開始まで半年を切る中、日本教育新聞社とナガセが主催する「夏の教育セミナー」が今年はおオンラインで開催された。過去最多の全国の大学の担当者がアドミッションポリシー(入学を受け入れ方針)や、入試の変更点について講演。その充実した発表内容の中から、紙面では入試の変更点を中心に紹介する。また、各教科の授業実践を指導経験豊富な教員が発表した。視聴期間は8月10、16日の予定を、好評により23日まで延長。約8千人の高校教員らが視聴した。

配慮事項は、文科省が入学者選抜実施要項で定める。6月19日付で通知した実施要項では、来夏の共通テストは予定通り1月16、17日に実施するが、追試を例年より1週間遅い1月30、31日に実施することにした。また、高校の臨時休業で学習に遅れのある受験生は、出願時に追試を選択できることになった。

各試験日の受験規模については、文科省が受験生に実施した意向調査によると、約43万人(83%)が当初の予定通りの1月16、17日を選んだ。前田室長は、申し込み者数に応じた高校会場の提供が必要になった場合、教育委員会などに依頼することになるとの協力を求めた。

国内の大学で初めて学部と大学院を統一し、学士課程と大学院課程の教育を一体的に一体化した東京工業大学。受験生には、科学校長への好奇心や探究心と社会に貢献する志を求めた。来年度入試の変更として生体理工学で実施していた後期日程を廃止し、一般選抜を前期日程に一本化する。第1段階選抜はこれまで、大学入試センター試験に基準点を設けて選抜してきたが、今回は志願者数が一定数を超えた場合に、共通テストの成績で選抜するとして、引き続き、合否判定は個別試験で行う。

Table with 2 columns: (国立) and (私立). Lists participating universities such as Osaka University, Keio University, and others.

科目指定を1科目に減らすことや、指定した科目以外の変更を認めるよう各大学に要請した。各大学の出願範囲などの配慮状況は、文科省のホームページで公表している。寄せられた疑問には来夏より後の入試改革に関する内容が自立した。英語4技能試験や記述式問題の導入については結論の時期を尋ねた質問に「当初、年内をめどに会議をしてきたが、ポストコロナの在り方を検討する声も上がっている」などとして延期を示唆。「新学習指導要領を踏まえた令和6年度の試験には検討結果を反映させる必要がある」として、遅くとも来夏には結論を得る必要があると述べた。

授業実践

新渡戸文化小中学校・高校(東京・中野区) 山本 崇雄 教諭

英語

東進ハイスクール・東進衛星予備校講師

安河内 哲也 氏



紹介したノートの書き方を一例とし、自己流の書き方を見つける大切さも語った

山本崇雄・新渡戸文化小中学校・高校教諭は、全国の高校が休業期間中に子どもなどを例に、学習と実生活のつながりを意識させる手だてや、学習の実践など具体的な手だてを挙げ、新しい教育の必要性を語った。授業では、生徒に英語を学ぶ目的を持つよう働きかけている山本教諭。国語の高校が休業期間中に直面した課題に「対面した課題に比べ、学習の道筋となる『学びのアサインマップ』を作成することで、生徒が実現に向けて必要な学びに主体的に取り組むことにつながる」という。

山本教諭は、英語の授業実践を紹介した。授業では、生徒に英語を学ぶ目的を持つよう働きかけている山本教諭。国語の高校が休業期間中に直面した課題に「対面した課題に比べ、学習の道筋となる『学びのアサインマップ』を作成することで、生徒が実現に向けて必要な学びに主体的に取り組むことにつながる」という。

文章読解へノード4分割

「問いを作る/図解/要約/答え書く」

「問いを作る/図解/要約/答え書く」を4分割して「問いを立てる」「わかったことを要約する」「わかったことを図解する」「問いの答えを書く」の項目を立て、問題文を読んでそれぞれ書き込ませる。

「問いを作る/図解/要約/答え書く」を4分割して「問いを立てる」「わかったことを要約する」「わかったことを図解する」「問いの答えを書く」の項目を立て、問題文を読んでそれぞれ書き込ませる。

「細かく聴き取る力」育む

「細かく聴き取る力」育む

「細かく聴き取る力」育む